

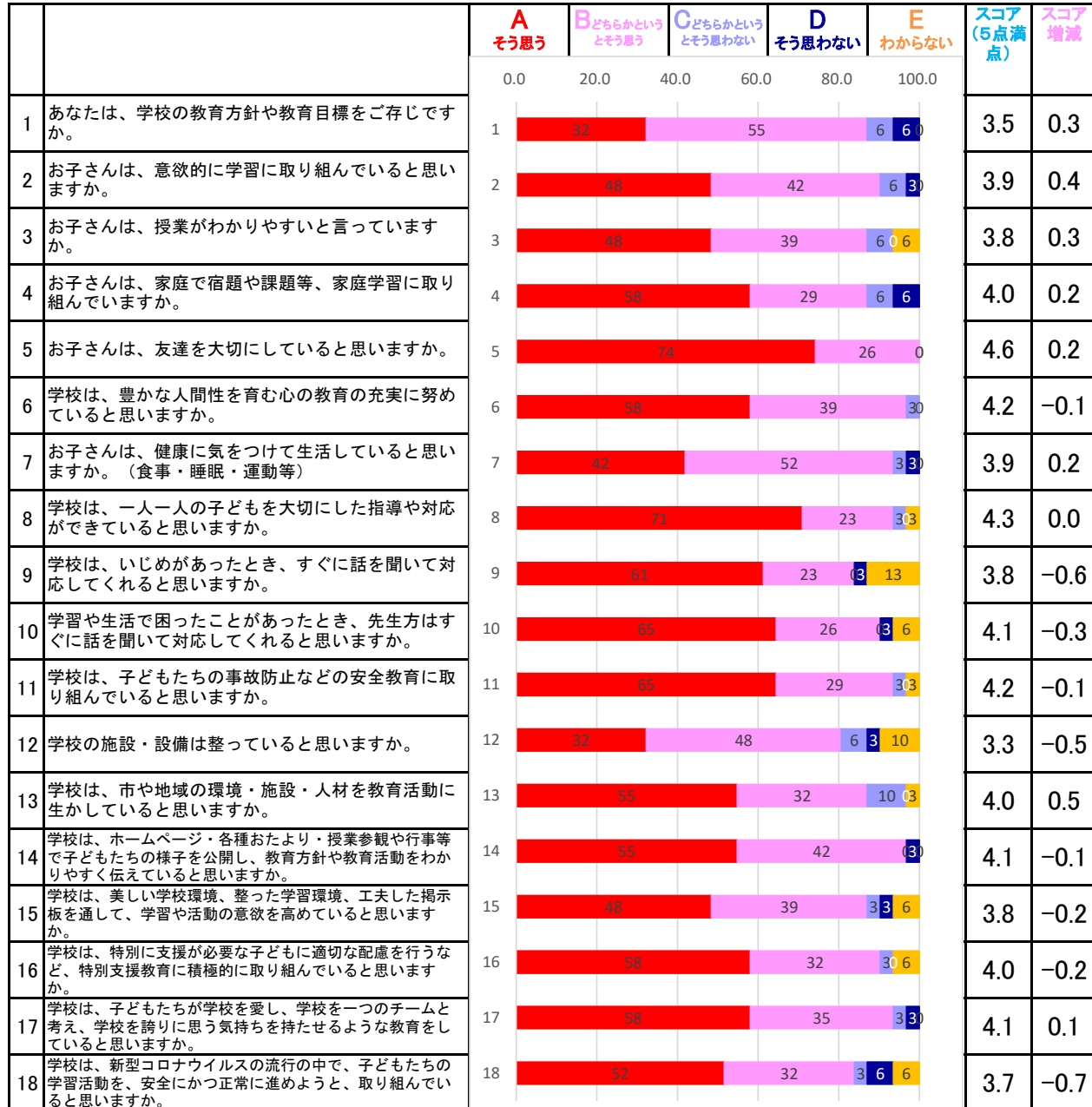
保護者 様

印西市立船穂小学校  
校長 安川 徹

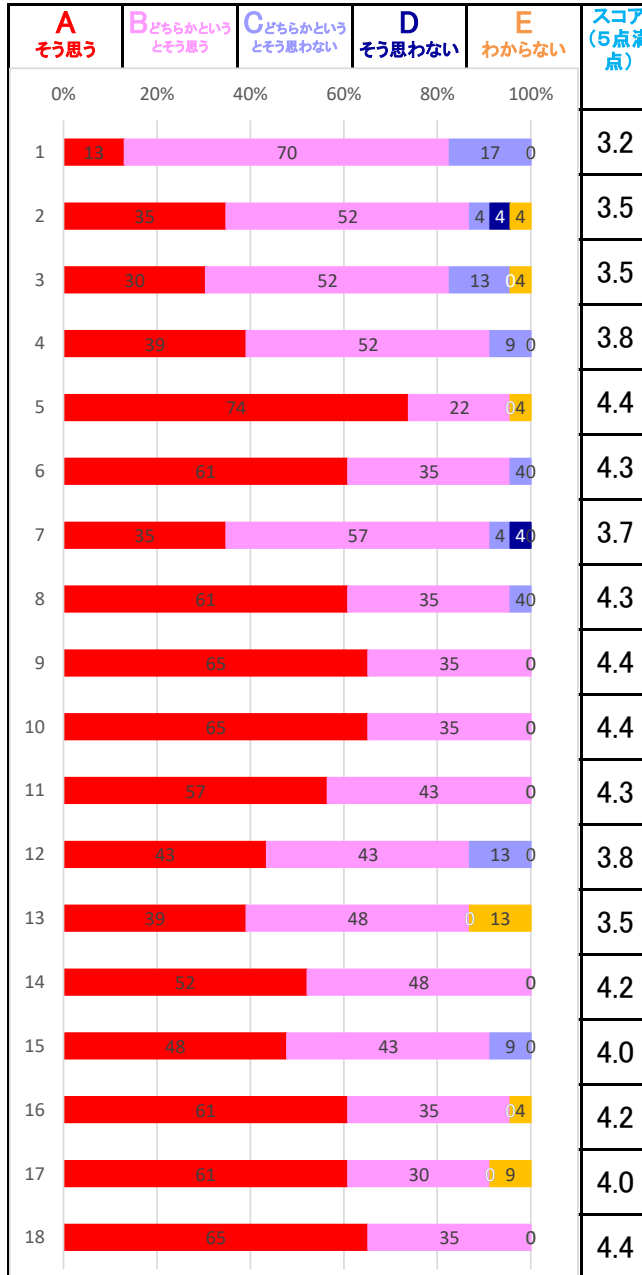
学校評価の結果について(報告)

表記の件につきまして、学校評価の結果がまとまりましたので報告いたします。結果につきましては、保護者の皆様の貴重なご意見として学校運営に生かして行きたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力をお願いします。

令和4年度 学校評価(保護者)集計結果



令和3年度 学校評価(保護者)集計結果



【考察】

《スコアベスト3》  
4.6 5 友達  
4.3 8 個に応じた指導  
4.2 11 事故防止

《スコアワースト3》  
3.3 12 施設・設備  
3.5 1 教育目標  
3.7 18 コロナ対応

《スコア向上ベスト3》  
+0.5 13 地域連携  
+0.4 2 学習意欲  
+0.3 1 教育目標

《スコア低下ワースト3》  
-0.7 18 コロナ対応  
-0.6 9 いじめ対応  
-0.6 12 施設・設備

今年度最も数値が高い項目は、「5 友達」です。しかも、昨年度よりもさらに0.2ポイント向上しています。また、児童アンケートでもこの項目は最も高い数値を示しています。今年度、小規模特認校制度が試行され、多くの転入児童を迎えて、なおもこうして数値が向上しているということから、船穂小学校では、子ども同士が互いに尊重し合い、よい人間関係の中で生活していることを窺い知ることができます。「8 個に応じた指導」が2番目に数値が高かったところにも、児童も教職員も人を大切にしているということが表れています。今後も本校の少人数のよさを活かして、よい人間関係を維持できるよう、子どもたちの様子をきめ細かく見てまいります。また昨年度よりも数値が最も向上しているのは、「13 地域連携」です。コロナ禍ということで何事も思い切ったというわけにはいきませんが、できることには取り組んでいくという考え方で、少しずつ地域との取り組みを推進しています。10月には「図書ボランティアによる読み聞かせ」を低学年で再開しました。また、地域や保護者の皆様と力を合わせて取り組んだ、創立150周年事業は大きな成果を残す活動となりました。この事業を弾みにして、今後もさらに地域との絆を深めてまいります。よろしくお願いたします。次に、保護者・児童共に「2 家庭学習」は数値が向上しました。学校では、クロームブックの活用等により、学校と家庭での学びの連続性をもたせることで、家庭学習に取り組みやすくしました。しかし、何よりも大きかったのは、ご家庭での保護者の皆様のお声がかかったのではないのでしょうか。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年度に比べて多くの項目で「わからない」という回答が増えています。これには転入からあまり時間の経っていない児童が多いことが要因の一つになっていると思われます。今後、本校の取組について、さらに周知に努め、家庭と学校の連携を強めてまいります。数値の低い項目ですが、最も低いのは、「12 施設・設備」です。校舎や施設・設備の老朽化により、修繕が必要です。児童の安全に関わることを最優先に、教育委員会に弛まず整備を依頼し、児童が安全で快適な学校生活を送れるよう努めてまいります。また、数値が低下した項目ですが、「18 コロナ対応」については、コロナ対策をしなくなったということではありません。これまでの3年間の取組をおしえて、コロナ対策が身につけているため、児童に一つ一つ指示をする必要がなくなったという側面もありますが、今後も気を緩めることなく、状況に応じてコロナ対策を進めてまいります。「9 いじめ対応」については、本校では、人数の少なさを活かして全教職員できめ細かく児童の様子を見ています。さらに、毎学期の「いじめアンケート」や「教育相談」、年4回の「学校生活アンケート」、さらに、保健室前の「相談箱」をとおして、常時、実態の把握に努め、いじめの早期発見・早期解決をめざしています。しかし、それでも十分ではなかったのかもしれない。これまで以上に注意を払って児童の様子の変化を捉え、迅速に対応してまいります。もし、何かお気づきのことがあれば、いつでもご相談ください。